

仏教超入門！9



友人も
住職に聞く！



友「ちょ、今更なんやけど阿弥陀様って本当
におるん？」

住「おうふ、なんでそう思ったん？」

友「だって目に見えるわけでもないし」

住「うん、親鸞さまは、阿弥陀様は色や形で
限定されないものだっておっしゃってる」

友「じゃあ、なんなん？」

住「智慧のはたらきやって言われる」

友「よう、わからんな」

住「うーん、風って目に見えへんけど吹いたら草木が揺れるの見えるやん？そんな感じ。僕らに仏法を聞かせ、お念仏申させる働きのことを仏様って言うねん。そうやって真実に導いてくださるの」

友「ふーむ。いつでも私を包んでる感じ？」

住「そうやな、『いる』とか『いない』とか言っている私、好きや嫌いで苦しみのお世界におる私を常にすでに包んでいて、世界の隅々まで充満している智慧と慈悲の働きを阿弥陀様と呼ぶねん」

友「うーん、難しいな」

住「私は忘れていても、いつでも『あなたが
大事や』ってお方がいるってこと」

友「それは普通に嬉しいな」

住「うん、嬉しいよな」

正覚寺日誌



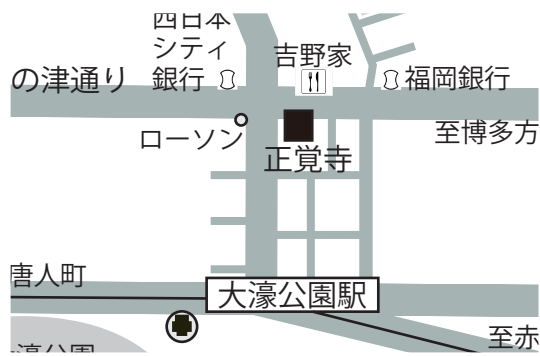
私たちが正覚寺に来て5年目に突入しました。コロナの影響はやっぱり大きいです。そんななかでも、お参りくださる方々との会話で日々助けられています。

お寺はだいたいいつも空いているので、混んでいて行けるところがないなあ、という方はいつでもお参りください。子ども連れの方、児童館がわりに遊びに来てくださいね！

今回の表紙は弥勒半跏思惟像です。足を組んで物思いに耽ける姿は、どうやって私たちを助けようか、ご思案なさるお姿です。仏像の鑑賞をするときには、宗教的な意味を知るとより一層豊かに鑑賞できます！

Access

地下鉄「大濠公園駅」より徒歩5分
西鉄バス「港二丁目」より徒歩1分



浄土真宗本願寺派
海見山 正覚寺

〒810-0074
福岡市中央区大手門 3-7-19
Tel 092-751-7074
Mail syougakuji1640@gmail.com

正覚寺寺報『amrta』vol.16

2021年6月発行

文章・イラスト：寛雅唯話 デザイン・文章：寛雅裕子



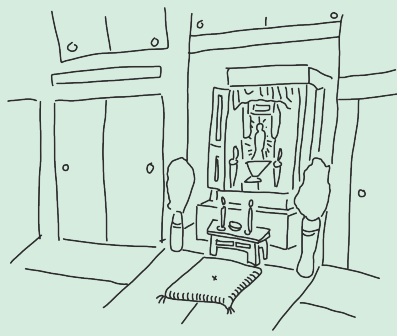
amrta
アムリタ

正覚寺寺報 vol.16

- 住職コラム「帰る世界をもらうのは今」
- グリーフケア特集その2
- 2021年6～7月 正覚寺スケジュール

この夏 初盆を迎えられる方へ

正覚寺では初盆のお宅は8月の13日、14日、15日を中心にご自宅のお仏壇にお参りしております。



ご自宅ではなく本堂で初盆をお勤めされる場合には、参詣者の多い8月13～16日以外でお願いしております。（どうしても13～16日にお寺でという場合には、本堂ではなく、門徒会館でお勤めします）

初盆のお宅には7月の第1週にお寺からお電話を差し上げ、そのあとスケジュールを調整する流れとなっております。どうぞよろしくおねがいします。

初盆ではないけれども、ご自宅でのお盆のお参りをご希望の方は事前にお寺にご連絡ください。

ささやかに お釈迦様のご誕生を お祝いしました

今年は花御堂に加えて、お誕生仏の顔出しパネルや、お釈迦様の誕生の地である、ネパールのルンビニーのご案内パネルを作り、展示しました。お参りの方々やおんがくひろばにご参加の親子が写真を撮ってくださいました！



正覚寺スケジュール

今後の感染症拡大の状況により内容が変更になる可能性があります。

お寺は毎日
9:00-17:00に開いています。ぜひいつでも、お気軽にお立ち寄りください。

6月

17日 | 木 | 10:00-10:40 音楽ひろば

正覚寺の本堂で手あそびやリズムあそび。お子さんと一緒に音楽を楽しむ会です！

日時：毎月第1・3木曜日 10:00～

対象：0～3歳のお子さんご家族

参加費：無料

申込み：不要

27日・28日 | 日・月 | 13:30-15:00 永代経法要

浄土真宗の教えと、教えを聞く聞法の道場としてお寺が永代に続いていくことを願い勤める法要です。お経のお勤めのもと、法話があります。

法話：安徳 剛典 師（大阪府養善寺住職）

7月

1日・15日 | 木 | 10:00-10:40 音楽ひろば

詳細は6月17日をご覧ください。

29日 | 木 | 13:30-15:00 『歎異抄』を読む！

親鸞聖人の弟子の唯円さまがお書き残してくださいました『歎異抄』を住職と一緒に少しずつ読み進めます！

日時：毎月最終木曜日 13:30～

参加費：200円（資料代）

持ち物：お念珠・聖典（お持ちであれば）

申込み：できれば事前にお電話ください

インターネットやスマホが 苦手でお困りの方へ

ぼちぼちできます！



まあまあできます！



住職も坊主もパソコンやスマホはまあまあできます！ワクチン接種の予約でも、その他なんでも、ネットでの作業や調べものでお困りの方は、お参りのついでにでも結構です、必ず解決できるかはわかりませんが、どうぞ気軽ににご相談ください！

帰る世界をもらうのは今

with コロナの生活が続いています。昨年の外出自粛期間中は娘とお寺の近所にある、かもめ広場という公園によく遊びに行きました。

かもめ広場はベンチがいくつかあるだけで、特に遊具のない広場です。子供は遊びの天才というけれども本当ですね。娘はちょっとした段差を見つけてはそこに乗り、宝塚の舞台に見立てて歌を歌い出したりするなど、次から次に遊びを見つけては愉快地過ごし続けていました。

夕方になり私が、「そろそろ帰ろうか？」と話しかけると、娘は「いやだ！」と答えます。無理やり連れて帰るのもよくないので、「お家に帰ったらご飯があるよ」と再び言うと「いやだ」と。

どうやったら帰る気持ちになるかしら？と考えた私は「お家に帰ったらお母さんがいるよ」というと、それまで遊びに夢中になっていた娘が顔を上げて「違う！」と答えました。

それには私もびっくりして「え、違うの？お

母さんいるよ？」「えっとね、お家にはね、お母さんと、しまじろうと、ひこにゃんがいるの」と娘は答えました。



それを聞いたとき私は「ああ、この子はなんて豊かな世界に生きているんだろう！」と感動し、思わずため息が出ました。娘にとっての家は、お母さんと、ひこにゃんと、しまじろうとみんなが待っているとても賑やかで豊かな場所なのです。

娘の言葉を聞いた後、私は浄土真宗の御教えをふと味わうことでした。私たちが本当に安心して生きるためには、安心して帰る家が大切です。帰る場所がないというのでは、不安で遊んでもいられません。

家と言っても普段寝泊まりしている、^{しゃば}娑婆の家のことではありません。それはいつか必ず出て行かなくてはなりません。言うなれば仮の宿のようなものです。私のまことの家とは阿弥陀様のお浄土です。

阿弥陀様は命の行き先に不安を抱える私に

「あなたの帰る浄土という世界があるよ。あなたがどのような生き方であっても、死に方であっても私が必ずあなたを引き受ける」と、この私の口からでる南無阿弥陀仏のお名号^{みょうごう}を通して呼びかけてくださいます。

私たちがまことの家であるお浄土に帰るのは、この命終えた時ですが、帰る世界をいただくのはただ今です。生きている今です。

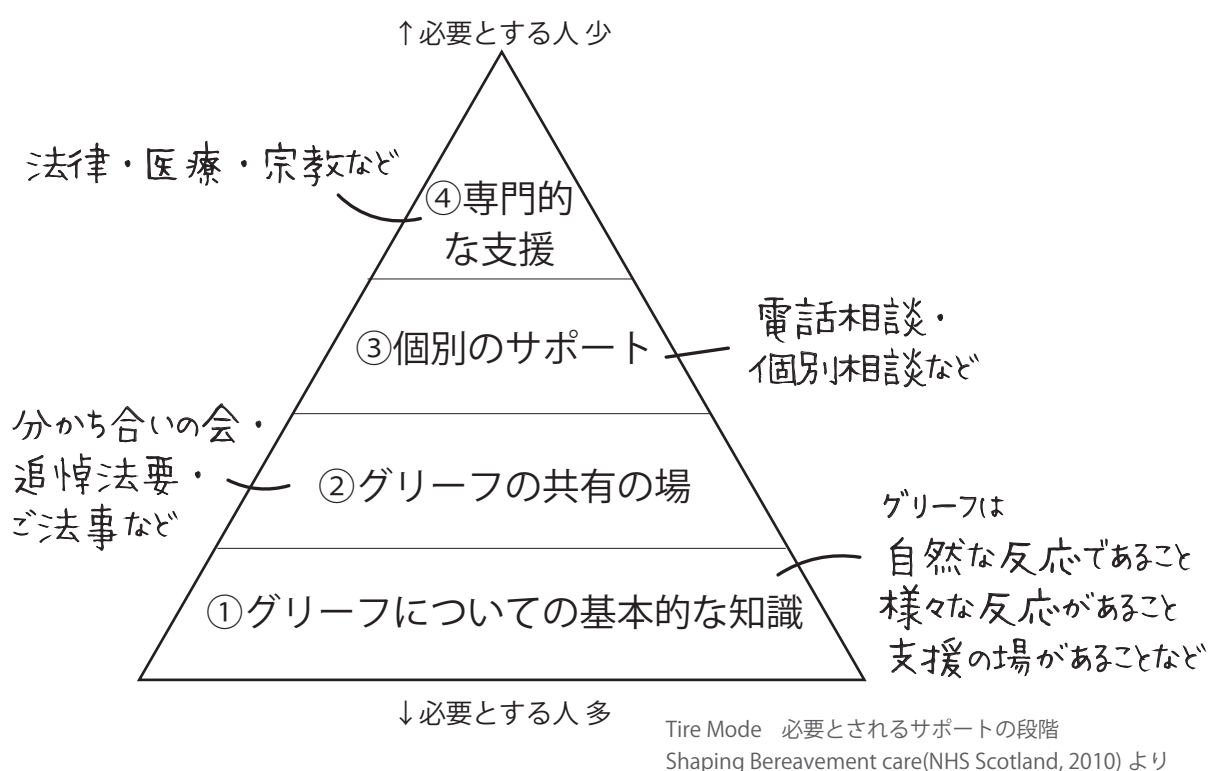
皆さんの帰る世界にはどなたがいらっしゃいますか？仏様、親鸞聖人、おじいちゃん、おばあちゃん、とても身近な大切なお方、私も忘れてしまったけれども、私を大事にしてくださいだった大変多くの方々。そのような方々に再会する世界があることをお念仏申し味わっていただきたいな、と思うことでした。



住職もちょっと勉強中！

グリーフケアについて その2

グリーフを抱える方へのサポートには以下のようなものがあります



「①グリーフについての基本的な知識」は、グリーフを抱える本人だけでなく、すべての人が知っておきたいことです。②③④とどこまで必要かは人によってそれぞれ違います。いろんなサポートがあるので、その時その人に合うところを見つけることでグリーフを抱えやすくなります。



グリーフとは？

大切な人、ものなどを失うことによって生じる、その人なりの自然な反応、状態、プロセスのことです。

▶実際のサポートには次のようなところがあります

■NPO 法人 こどもグリーフサポートふくおか

大切な人を亡くした子どもたちを遊びや会話をとoshiサポートしています。ふくふくプラザ等で開催。

<https://www.grie-fuku.com>

■リメンバー福岡 自死遺族の集い

定期的に遺族の集いをあいいふで開催しています。匿名での参加や、聞くだけの参加も可能です。

092-737-1275

■一般社団法人 リヴオン

ホームページではグリーフの基礎について学ぶことができます。住職が学ばせていただいた NPO 法人です。

<https://www.live-on.me>

▶もちろん正覚寺でも

日々、仏様の前でお話を聞かせていただいています。ご希望の方はいつでもご相談ください。また、その方に合ったサポートと一緒に探したり、今後は分かち合いの会も開いていきたいと考えています。